

熊本県 八代市『八代駅』 ～ 鹿児島県 薩摩川内市『川内駅』

お負けるな！  
おれんじ



新聞

令和2年 8月16日  
野比東小学校  
5年 長岩 来維

八代海に面した八代駅から川内駅まで全長116.9km、全28駅を走行する。1・2両で運行し、(自)を基調におれんじの中に沿線の(青)い海と豊かな(緑)を象徴するラインを走らせたシンプルなデザインの電車である。

肥薩  
おれんじ  
鉄道

熊本県PRキャラクターである『くまもん』をデザインした『くまもんラッピング列車』を3台運行している。それぞれ内装にもこだわっている。大人気のキャラクター列車に乗って、思い出づくりをする人が急上昇している。



熊本県(肥後の国)と鹿児島県(薩摩の国)と

両県をまたぎ、沿線にはみかん畑が多い事から『肥薩おれんじ鉄道』という名前の由来がある。この路線は、移動手段の他に走るレストランと称される『おれんじ食堂』が人気である。



令和2年7月  
豪雨による災害

佐敷トンネル

7月の豪雨により肥薩おれんじ鉄道は60を超える箇所ですら路線や電力、信号設備など被災し、不通区間が発生した。海浦駅と佐敷駅の間にある『佐敷トンネル』では、大規模な土砂崩れにより、大量の土砂がトンネル坑口を塞ぎ、約250mに渡って線路が遮断される被害があった。現在では、不通区間があり、一部バスでの運行で対応している。

熊本市  
熊本県  
鹿児島県  
川内駅

おれんじ食堂 大人気

『変わりゆく美しい九州西海岸の景色を眺めながらゆたり、のんびり、スローライフな旅が楽しめる快適な空間の演出』をコンセプトとした観光列車である。

『“食”を通じて沿線の魅力を知ってもらう』をテーマに車内で沿線地域の特産物を使用した料理を楽しめる。東シナ海や不知火海で獲れた新鮮な魚介・かごしま黒豚・水俣根菜など地域食材の美味しさを味わう事ができる。

IOTの活用

日本では今年からサービスが始まった5G。5Gはたくさんの情報を速く、同時に伝えられる。このため、テレビやリモコンなどあらゆるモノをインターネットで動かす事ができるようになる。IOTが一気に広がると言われている。

危険な工事現場でショベルカーを安全な場所から操作する。  
↓  
土砂崩れの崖やトンネル内の工事を無人で行う。

遠く離れた場所でも正確な情報を入手したり、物や人を運んだりする。  
↓  
ドローンを使用して遠隔操作を行う。

編集後記  
IOTを活用(無人工事・ドローンでの遠隔作業)をする事で、工事の効率を上げる事ができると考えました。保線作業員の安全が守られると考えました。鉄道が全面開通するのを利用者が安心して乗車でき、日常を取り戻す事が出来ると思います。今後、自由に旅行へ行ける時期が来たら、熊本県に行き、くまもん列車やおれんじ食堂を利用した内容を確かめたいと思います。